

C'est le TEMPS
de
RE'FLÉCHIR



ファッションは好きではありません。
流行は嫌い。ファッションは流行から来てるから好きではないの。

この外出禁止の日々、洋服ダンスにある昔と最近の洋服を色々組み合わせているの。
今でも 1979 年の服と一緒に着られると思うわ。

それが私の特技！永遠に着られる服を作りたい。

b. forever ♡

「いまこそ、深く、考えを巡らせるとき」

[instagram.com/agnes_b_senga](https://www.instagram.com/agnes_b_senga)



私は長年着ることができる洋服を良質な素材と良質な縫製で作っています。人々は私に 10 年、20 年前に買ったアニエスベーの洋服の話をよくしてくれますが、私がデザインする洋服に思い入れのようなものを持っているようです。彼らはその洋服にまつわる様々なストーリーを話してくれ、そのような話を聞くといつもとても感動し、うれしい気持ちになります。

1968 年 5 月、街中で行われていた資本主義的なイデオロギーと過剰消費への反対運動に参加しました。長年着られる洋服を作ること。私のクローゼットには 20 年前の作品がまだかかっていて、今でも着ています。ファストファッションには関わりません。年間 4 回のコレクションを出しますが、このリズムが好きです。ファッションショーは素晴らしいし、キャットウォークで見せるもの全ては私たちがプロデュースしているものです。他社と異なるのは、ファッションショーだけのために作る洋服がないということです。私はエコロジー活動に非常に活発に関わっているので、自分のコレクションからカーボンフットプリントを可能な限り減らす努力をしています。

2000 年初期には、私と息子のエティエンヌでピーター・ブレイク卿の未亡人ピッパ・ブレイクからスクーナー船タラ号を購入し、そのおかげでエコロジー活動に 更に深く関わることができました。タラ号の主な活動は世界中の海を航海し、科学研究する事ですが、タラ号には、船員や、科学者以外にアーティストも乗船し、アートと科学の力で海洋を知り保護する事の大切さを伝えています。タラ号の活動は、特にプランクトンおよびサンゴに関わる研究に多大に貢献しており、その成果は国際的に著名な科学誌にも掲載されています。

give love!
agnès b.



人々はもっとシェアをしないといけない。いつも言うけど、お金持ちはシェアをするべき。する人もいるがしない人もいる。ちゃんと税金を払ってればフランスはもっといい国になれると思う。もっと人助けをしないといけない。シェアしないならなんのためにお金持ちになるの？



私はむしろ時代のスピリットに関連した服やその他多くのものを描き、デザインをし、常にそれらに変化を加え続けていると言いたいのです。

les "pour toujours"



LIVE INTERVIEW:
AGNÈS B. x JEAN-CHARLES DE CASTELBAJAC





アニエスベールの企業方針は、品質、信頼、自由へのコミットメントを示した強い価値観に基づいています。

アニエスベールはブランドとして品質をとっても大切にしています。その高い品質を維持するために、生地や生産技術選びが非常に重要であると信じています。アニエスベールは原材料の生産地の特性やノウハウに強くコミットし、またそれらを維持することを心がけています。

さまざまなパートナーとの関係は、アニエスベールにとって最も重要です。アニエスベールのグループ内はもちろんのこと、お客様やサプライヤー様と信頼関係を築くことは何よりもまず大事なことです。

しかし、もっとも重要な価値は、もちろん、倫理です。アニエスベールは社会的、環境的責任に関する問題にとっても敏感であり、これらの大切な価値観を先頭に立って広めなければならないと考えています。ファッション業界で誠実さと責任を示すことは、個と環境を尊重することなのです。

品質、敬意、公正は矛盾しないと信じています。アニエスベールは、長い間、基本的権利の保護に取り組んできました。また、環境は今日の大きな課題であると考えており、環境保護に細心の注意を払っています。

私たちの倫理憲章は、次の原則に基づいています。

- お客様、従業員、共有、個の尊重、寛大さを大切にしたブランド価値
- 自由さと等身大を維持し、大きく広げすぎない家族経営のビジネス
- 社会的影響を重要視すること
- タイムレスな商品とスタイル
- メイド イン フランスと、厳選された長年のパートナーによる日本国内の現地調達にこだわること
- 責任ある持続可能なサプライチェーンの継続的な改善
- 継続的な環境保護
- 広告活動を行わないこと

昔から持続可能な取り組みにコミットしています "engagés...depuis longtemps"

「サステナビリティ」（持続可能性）は、ブランド立ち上げ当初からアニエスベールの DNA に深く根付いてきた基本理念です。この理念は現在では「SDGs("Sustainable Development Goals"：持続可能な開発目標)」として広く知られていますが、アニエスベールでは、ブランド立ち上げ当初から土台とされてきました。アニエスベールは独自のスタイルで 17 の SDGs のすべてに取り組んでいますが、特に 3 つの取り組みに焦点を当てています。

- 「fonds de dotation agnès b. (アニエスベール財団・基金)」を通じた社会貢献
- 何があんでも環境を守っていく、アニエスベールの "b. green" イニシアチブ
- スクーター船タラ号プロジェクト

これら 3 つの取り組みを中心に環境・社会への責任を果たすことで経済的責任を果たすことにもつながり、アニエスベールらしい "アニエスベースタイル" で SDGs の全領域をカバーしています。



SUSTAINABILITY



TARA !

oui, cette goélette, depuis que je l'ai
rencontrée me tient à  et plus que
ça...! elle est si belle, si simple,
tout, à bord, a une fonction et c'est
là sa beauté'. Elle est fière et brave
comme un marin de haute mer,
d'aventure, de folie combative
nous l'aimons -

agnès

étienne



タラ号！

そう、このスクーナー船は出会ったその日から私の♡を奪っただけでなく、かけがえないものになった……！ タラ号はどこまでも美しく、シンプルで、船上のあらゆるものがそれぞれ役割を持つところがすてき。この船は大海原に行く船乗りさながら、誇り高く勇ましく、冒険心と熱い士気に燃えているの。私たちの愛するタラ号。

アニエス エティエンヌ

タラ号活動ご支援のお願い

タラ号の活動は、皆様からのご支援で成り立っています。私たちの呼吸に必要な酸素の半分以上を作っている海をより理解し、保護するための寄付金をタラ号公式サイトよりワンコイン（500円）から受け付けています。皆さまからのご支援をお願いいたします。



give
love!

TARA-JAMBIO プロジェクト

日本の Tara Océan 財団は 2020 年に JAMBIO（マリンバイオ共同推進機構）と共に日本列島沿岸でマイクロプラスチック汚染の研究プロジェクトを始めました。

JAMBIO と Tara Océan 財団の科学者は、高濃度のプラスチック汚染が観測されている一方で、生物多様性に富む日本沿岸のプラスチック汚染の度合いと、生物多様性への潜在的な影響を評価することを目的に、日本の海域のプラスチック汚染（マイクロプラスチック、ミクロの破片、ナノプラスチック）について探査します。

JAMBIO：筑波大学 下田臨海実験センターと東京大学 海洋基礎生物学研究推進センターの連携協力により 2010 年に発足。現在は、北海道から沖縄まで日本沿岸の 21 のマリンスターション、研究施設が連携しているネットワークです。



kids workshops

la famille agnès b.（親子で楽しむアニエスベー）では、地球や海洋環境を守るために子供たちにも出来ることを考え、行動できるようになってほしいという願いをこめて企画を実施してきました。

2020 年 3 月 - 6 月 オンラインで親子で参加する投稿コンクール「タラ号ポスターコンクール」を実施。優秀賞はタラ号のサポーターで現代美術家の日比野克彦氏に選考いただきました。





科学探査船とアーティスト

TARA OCEAN 展

アニエスベー ギャラリー ブティックでは、7月1日(水)より『TARA OCEAN 展』を開催しています。本展は、Tara Océan 財団協力の下、4組のアーティストの作品で構成されるグループ展です。

科学者が調べて解明して発信することとは別に、アーティストが感じた海の状態、様子など、実際に海で体験したことを作品にして発表しています。

今回ご紹介する Nicolas Floc'h(ニコラ・フロック)、大小島真木、Elsa Guillaume(エルザ・ギヨーム)、K-NARF&SHOKO(ケーナーフ & ショウコ)の4組も、これまでにさまざまな形で科学探査船タラ号に関わりながら作品を制作しました。

agnès b.
galerie boutique
Tokyo

agnès b. galerie boutique アニエスベー ギャラリー ブティック

営業時間：13:30-18:30 (月曜定休)

住所：東京都港区南青山 5-7-25 ラ・フルール南青山 2F

電話：03-3406-6010

agnès b. galerie boutique



NICOLAS FLOC'H

絶滅の脅威に晒されているサンゴの耐性を研究する「タラ号太平洋プロジェクト(2016-2018)」に参加し、2017年3月-4月に東京から台湾の基隆市まで「黒潮」に沿って乗船。

本展では、タラ号乗船時に撮影された写真作品、及び「瀬戸内国際芸術祭 2019」で発表された、瀬戸内の海で撮影した作品を主に展示します。彼は、海洋生物の重要な生息地でもある、珊瑚礁だけでなく、人工魚礁(人工的に海底に設置され海洋生物に寄生され生まれた魚礁)にも着目し、写真作品と、インスタレーションを制作しました。

ELSA GUILLAUME

2015年のCoal Prize受賞をきっかけに、2016年9月-10月にイースター島とタヒチ島間でタラ号に乗船。見聞きた事を旅ノートに記録し、水彩画を描きました。これは後に他のタラ号レジデンスアーティストと共に展示される"コーラルコスモグラフィー"と呼ばれる「水中マップ」の基礎となりました。

MAKI OHKOJIMA

世界公募で選出され、2017年1月にグアムから日本を目指してタラ号に乗船。2ヶ月半に及ぶ海上での経験は、海の生物が織りなす生命の循環と共生のイメージをより具体的に大小島に育むことになりました。そのイメージは、今回展示する、タラ号乗船中に制作されたドローイング9点を生み出し、やがて「鯨の目」シリーズと呼ばれる、より大胆で大掛かりな作品群へと結実しました。

K-NARF&SHOKO

2019年8月にフランスで彼らのアートプロジェクト "HATARAKIMONO PROJECT" のサイドプロジェクトとしてタラ号に乗船するクルーのポートレートを制作しました。





ROYAL MER KNIT

1975年フランス・ブルターニュで創業し、ハイクオリティで洗練されたオリジナルな製品づくりで世界中を魅了する"ロワイヤルメール ブルターニュ社"。フランスの専門技術、伝統的な仕事や職人技を守るために、国内生産を推奨するアニエスベーは、同社とパートナーシップを結んでおり、2012年よりメンズ、レディースコレクションのブルオーバーの生産を担っています。

TARA SNEAKERS limited edition

このスニーカーは、2013年から2019年まで、タラ号の科学探査を支え130,000 Km を航海したメインセイル（主帆）をリサイクルし、150足限定で製作されました。



ポルトガルのポルトにある小さな家族経営の工場で生産されましたが、この工場は、EU基準に則った公正な労働条件を保証し、ISO14000規格（環境管理の国際規格）も取得しています。軽量で、防水性、耐久性に富み、高品質で、"持続可能性"の高いスニーカーでもあります。何度も海を渡っている帆を使用しているため、科学探査の痕跡を示す"傷"もあるこのスニーカーは、日本では非売品ですが、直接手に取って頂ける企画をただ今準備中です。



Tara Océan 財団のフランスのEC サイトでのみ、購入可能です。





2006年、アニエスベーの希望により環境問題に関わるフランス本社での良い習慣と改善すべき点の監査が行われました。それにより、様々なアクションプランを含む指針が設定され、社員の有志によりグリーン委員会が設立されました。

改善項目には、炭素排出量の測定、道徳基準の作成、環境に優しいバッグや木製ハンガーの導入、FSCとISO 14001認定のラッピングバッグへの変更、社員全員によるゴミ削減の徹底、ウォーターサーバーの導入、ヨーロッパとフランスでの生産を最大限に保つことで航空輸送による温室効果ガス排出 (GES) を制限すること、基準を「満たす」ような開発・生産方法に注力することなどが含まれています。

今日では、何がなんでも環境を守る "b. green" の想いから日本国内でもこの活動に注力しています。

b.green point スタート

全国のアニエスベeshopでは、ご購入時にショッピングバッグご不要の意思表示いただいたお客様を対象に、ご賛同への感謝の気持ちを込めてアニエスベeshopメンバーシップのポイントを30ポイント付与させていただく**"b.green point(ビーグリーンポイント)制度"**を実施しています。



agnès b. café

2020年7月1日よりアニエスベー渋谷・銀座・名古屋各店のカフェでは、環境に配慮したパッケージを使用したテイクアウトドリンクを提供しています。

テイクアウト用のドリンクカップ、カップの蓋、ストローはすべてプラスチック不使用で、リサイクル可能な紙素材のもの。

アニエスベーの環境を大切にサステナブルなファッション、ライフスタイルを提案する思いが込められています。



"mymizu" 給水サービス

アニエスベー渋谷店では、無料の給水サービスをご利用いただけます。

→ <https://www.mymizu.co/>

shop information

agnès b. 渋谷店
11h - 20h
東京都渋谷区神宮前 6-19-14
03 6803 8170



SUSTAINABILITY B.GREEN

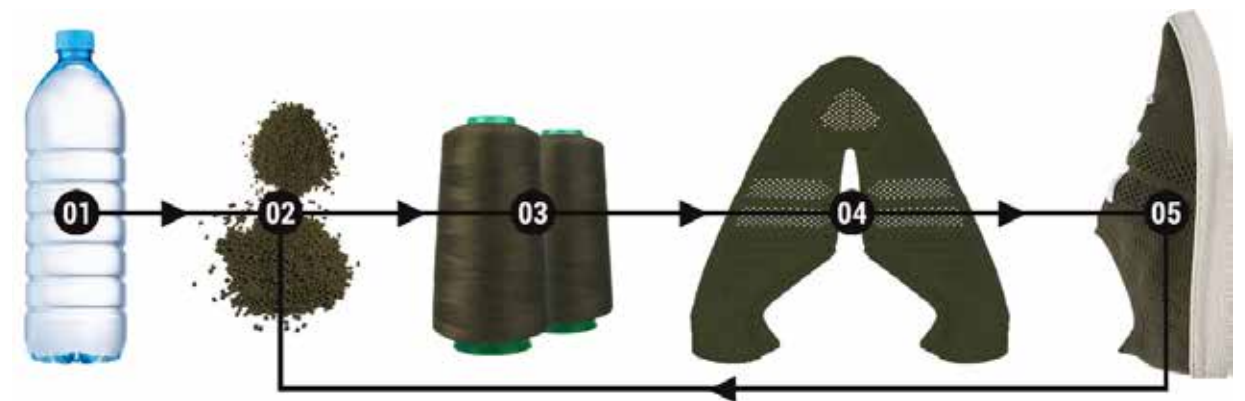


HATARAKIMONO PROJECT annex "TARA CREW"





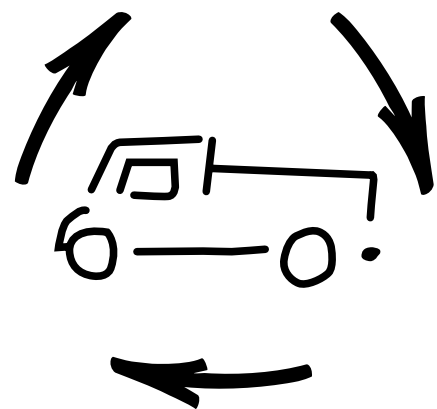
agnès b. *et* 



6本のペットボトルが1足のシューズに生まれ変わる、Ector(エクター)のスニーカー。

このフランス生まれのエココンシャスなブランドと、日頃から環境問題に積極的に取り組むアニエスベーのスペシャル
コラボレーションが実現しました。

リサイクルから生まれ、社会的な経済活動にいま一歩踏み込んだスニーカーです。



UPcycle !!

廃棄された自動車のエアバッグとシートベルトを使い、アップ
サイクルしたバッグも。軽くて丈夫な素材の特徴を生かしてつくられ、
サステナビリティに配慮したトートバッグです。折りたたまれた
エアバッグの生地従来のシワも、デザインのポイントになって
います。



agnès b. JEANS

... timeless, sustainable
and ecofriendly

1975年のデビュー以来、アニエスベーのコレクションに欠かせないワークウェア。タイムレスでユニークな"ジーンズ"もその一つです。使うほどに身体に馴染んで穿き心地がよくなり、自然な色落ちを楽しみながら永く愛用できるアニエスベージーンズは、環境にやさしい、耐久性をもった衣服です。



“ 日常のためのジーンズ、一生もののジーンズ ”

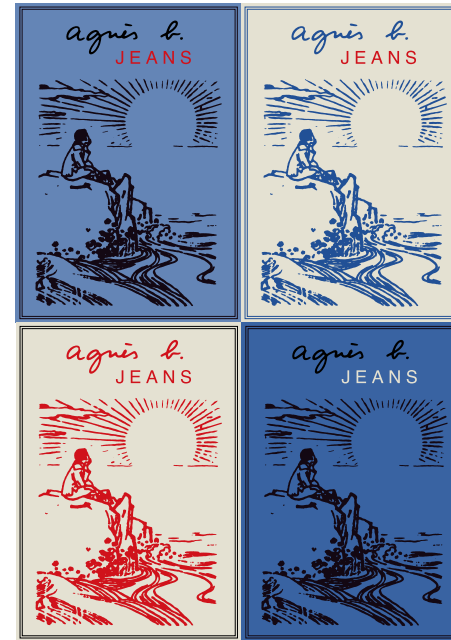
MADE • IN JAPAN

アニエスベーは生産者との関わりをととても大切にしています。
アニエスベーのいくつかのジーンズモデルも、長く関わりのある工場で生産されています。素材もアニエスベーが自然な穿き心地にこだわり、初めて穿いた時にも心地良いように、生地にはスパンデックス(ポリウレタン)を使い柔らかい仕上がりになるようにしています。大量の水を必要とするブリーチも環境保護を大切にするアニエスベーでは行いません。



この春より新たに、岡山県児島産セルビッチデニムの「agnès b. JEANS」定番入りしました。

世界に誇る技術を持ったジーンズの産地である、岡山県・児島産のスリムシルエットのローデニム。使うほどに身体に馴染み、穿き心地がよくなり、変化を楽しみながら永く愛用できるジーンズです。100%コットンのセルビッチデニムでこの道30年以上の職人が作り上げています。



バックポケット部分にはレザーパッチで「agnès b. JEANS」、また古紙とデニム工場が出るデニムの切れ端から作られ、インディゴデニムの様にブルーがかったオリジナルのフラッシュャーが付きます。

フラッシュャーには、'La jeune fille qui regarde la mer' (海を見ている少女)というタイトルの絵が入ります。こちらのドローイングは、アメリカの1号店がオープンしたときに、タグとして使われ、現在でもたびたび商品の一部に使われています。また、同じドローイングがジーンズの内側にもプリントされています。



New Standard Chic!!





2009年に アニエスベーがパリで設立した「fonds de dotation agnès b. (アニエスベー財団・基金)」を通じ、様々なプロジェクトを行うことで継続的な社会貢献活動を行っています。

この寄付基金は、主に、人権・個の尊重、環境、文化・芸術の3つの分野を支援しており、フランスのアニエスベー社はもちろんのこと、独自のプロジェクトや活動を行うことでアニエスベージャパンも寄与しています。

人権・個の尊重

warm 財団

1993年にサラエボ包囲が始まると間もなく、アニエスベーはパリから2時間足らずの場所で戦争が起き、包囲された市民たちが貧窮していることへの怒りに震えながらハートのモチーフをデザインしました。そのハートをあしらったピンバッジはアニエスベー全店で販売され、売上金はサラエボ市民の食料や薬を送っていた「ブルミエール・ユルジャンス」という団体へと寄付されました。

現在は、サラエボだけではなく、世界の紛争に取り組むアーティストや研究者を支援するWARM財団へ売上収益の寄付を行っています。





*tout au long de l'année,
cette écharpe rouge
(laine ou coton)
est rendue au
profit des malades hospitalisés
dans les services consacrés
aux soins du sida*

agnès



hiv/aidsとの闘い

アニエスベーは特にエイズ予防啓発運動に熱心に取り組んでいます。季節に応じてウールやコットンの赤いスカーフを発売し、その収益は様々な団体や、アニエスベーが出店している国の病院に寄付されています。

PROTÈGEONS- NOUS !

「わたしたち自身を守るう!」

1993年には、アニエスベー全店舗でコンドーム無料配布を始めました。無料配布コンドームは簡単に手を伸ばせるカウンターに「ご自由にお持ちください」と書かれ置かれています。

パッケージもクリエイティブな表現の場となっていて、これまでギヤスパ・ノエ、マイク・ラッシュ、草間彌生、ジョンワン、オレールなどがデザインを手がけました。

-コンドーム配布対象店舗-

青山店 / 渋谷店 / 銀座Rue du Jour店 / 心斎橋大丸店 / オム名古屋パルコ店



SOS地中海協会： secours aux migrants (難民救済)

アニエスベーは、スカーフを作ってその販売収益を寄付することにより欧州地中海のレスキュー団体、SOS地中海を支援しています。2000年以来、3万人以上がヨーロッパの海岸線にたどり着こうとして地中海で亡くなっています。リビアとイタリアの間の海は、現在世界で最も命がけの移動ルートです。この悲劇を踏まえて、2015年にヨーロッパの市民社会が結集して、ヨーロッパの地中海レスキュー協会であるSOS地中海を結成しました。





アメリカの黒人活動家アンジェラ・デイヴィスが冤罪により投獄されたことをきっかけに、1971年にアメリカ国内外で釈放運動が広がりました。黒人の人権を尊重する "Black Lives Matter" 活動は、50年以上たった今も続いています。アンジェラ・デイヴィスは1年の受刑後、無罪を勝ち取りました。彼女は当時「私が変えられないものは、もうこれ以上受け入れません。私が受け入れられないものは、自分で変えていきます。」と語っています。

アメリカ・ニューヨークでベトナム反戦運動が社会現象となった時期にアニエスベーはこのバッジをもらい、今でも身につけて平等な人権のために声をあげ続けています。人権擁護はアニエスベーが生涯をかけて行っていることの中心となり、ブランドを構築する上でも重要な核となりました。

アニエスベーは BLACK DE COEUR "the black heart" を用いて黒人への想いを表現しています。



my "button"
from the time





文化・芸術

La Fab.

アニエスベー財団・基金は、たくさんのアーティストが創造するプロジェクトをあらゆる過程で毎年支援しています。支援はプロジェクトのスタートだけでなくそれを公開するまでのレベルに及び、その目的は、アーティストの作品を一般の人々だけでなく専門家にも披露できるよう支援することでもあります。

アニエスベーは、"les amis des beaux arts"(レザミ・デ・ボザール[:les amis(レザミ)とは友人や友達の意]) 賞を通して学生や卒業生などの若いアーティストたちの創作支援をサポートすることで、芸術における個の尊重を支援しています。この賞は彼女がフランスで有名なパリの美術学校であるl'École nationale supérieure des Beaux-Arts (エコール・デ・ボザール:国立高等美術学校) と共同で2007年に設立したものです。



Femme ¥11,000+tax

Homme ¥12,000+tax

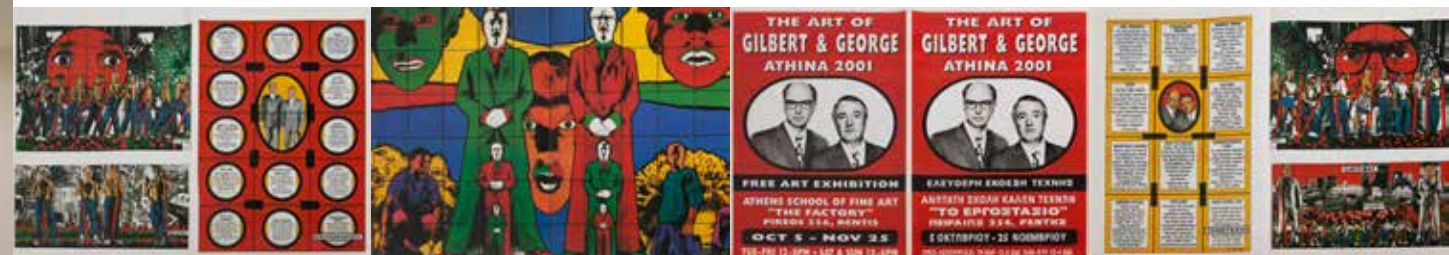
いずれも 3 サイズ展開

T-shirts d'artistes!
collector!

ギルバート・プロッシュとジョージ・パサモアの二人からなるイギリスのアーティスト・デュオ "Gilbert & George" が制作したコロナ禍に対するメッセージアートを、アーティストTシャツシリーズから発売しています。

"DON'T CATCH IT! DON'T SPREAD IT! DON'T GET IT!" [感染しない! 拡大させない! 感染させない!] という力強いメッセージがプリントされおり、収益はアニエスベーのチャリティ活動の一環として、イル・ド・フランスにあります 39 の教育病院を支援する **AP-HP FONDATION** へ全額寄付されます。

アニエスベー渋谷店では、Gilbert & George のポスターとアーカイヴTシャツを用いたスペシャルなディスプレイを展開中です。



Gilbert & George / ギルバート & ジョージ

ギルバートとジョージは 1968 年にロンドンのセント・マーチンズ・カレッジ・オブ・アートで出会って以来、片時も離れたことがない。このユニークな服装をしたエキセントリックなブリティッシュ・デュオは、どこにいても注目を集める。2 人は作品の中に自分たちを「living sculpture (生きる彫刻)」として頻繁に登場させることで知られているが、色鮮やかな写真をベースとしたグラフィック・スタイルのアートが最も有名である。ギルバート & ジョージは、過去にも何度かアニエスベーのアーティストTシャツコレクションのためにデザインを提供し、『ボワンディロニー』の合同出版にも 2 回参加している。2015 年 5 月にはニューヨーク近代美術館にて初期の作品の展示が行われた。

今こそ、
状況をひっくり返すとき。
私たちにとって
一番大切なものを守ろう。

Fondation
taraocéan
探査と共有



agnès b. Japan Inc.

issue on september 2020